

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

体力・運動能力の状況（岡山県公立学校の状況）

1 調査の実施状況

(1) 調査の目的

- 本県における、これまでの体力向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における指導などの改善に役立てる。

(2) 調査期間 令和4年4月～7月

(3) 岡山県の実施人数

	小学校<5年生対象>	中学校<2年生対象>
児童生徒数（実施校数）	15,541人（364校）	14,324人（151校）

※ 小学校には特別支援学校小学部、中学校には中等教育学校、特別支援学校中学部を含む

※ 政令指定都市である岡山市は、義務教育の実施について、財源や人事、組織に関する権限を有し、それに基づいて岡山市の実態を踏まえた目標や指標を設定し、独自の教育施策を推進している。

本調査では、県民の皆様にも、岡山県全体の状況をお知らせするため、岡山市における結果も含んだ数値を公表している。

(4) 調査内容

ア 実技に関する調査（新体力テスト8種目で実施）

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(中学校：持久走も可)
50m走、立ち幅とび、ボール投げ(小学校：ソフトボール、中学校：ハンドボール)

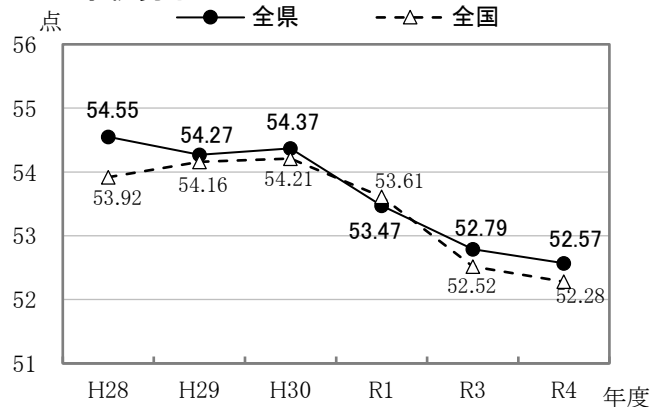
イ 質問紙調査 □児童生徒：運動習慣、体育授業等の項目

□学 校：子どもの体力向上に係る取組等に関する項目

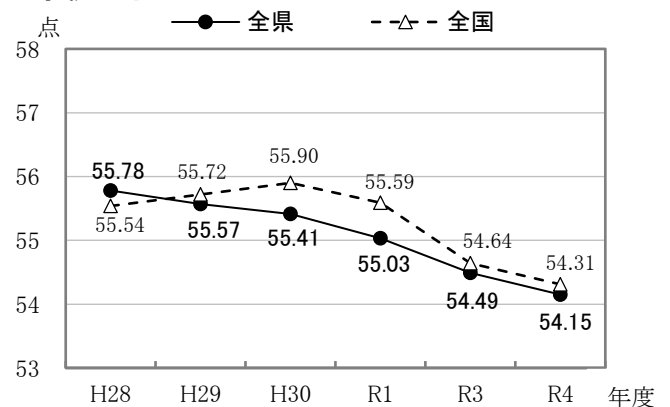
2 調査の結果（公立学校）

(1) 体力合計点の年次推移

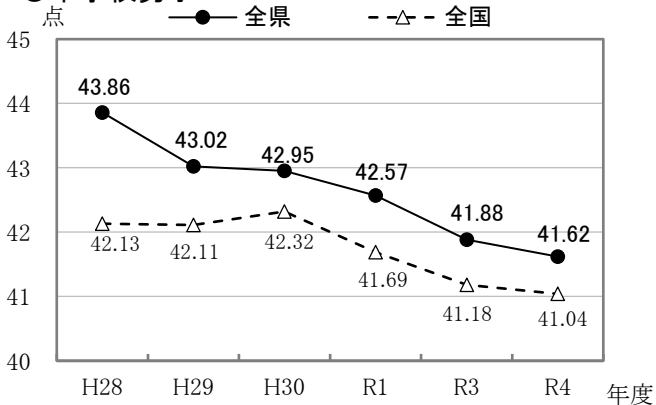
○小学校男子



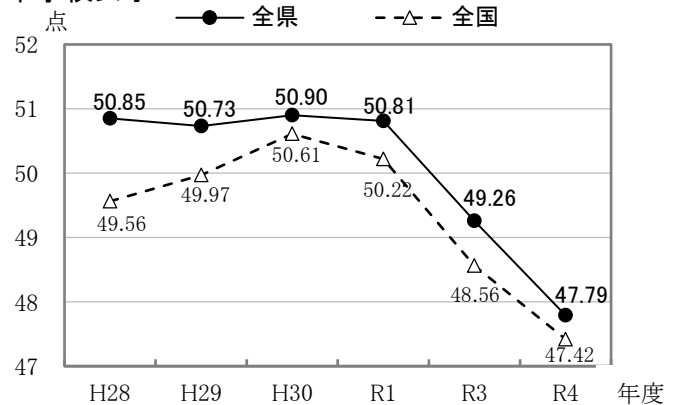
○小学校女子



○中学校男子



○中学校女子



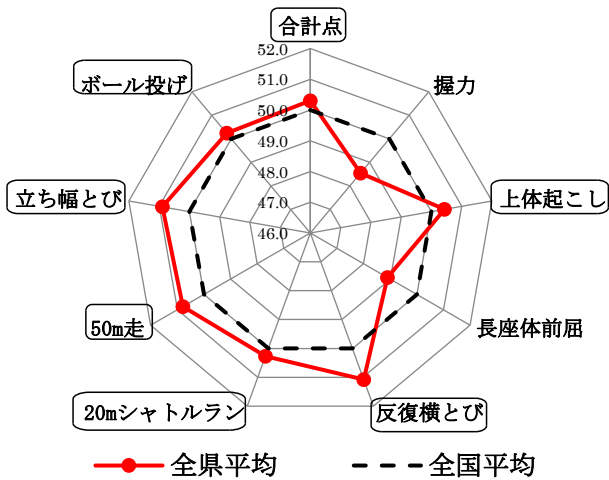
体力合計点：8種目の成績を1点から10点に得点化した合計点

※R2は新型コロナウイルスの影響により未実施

(2) 体力合計点と各種目ごとの平均値

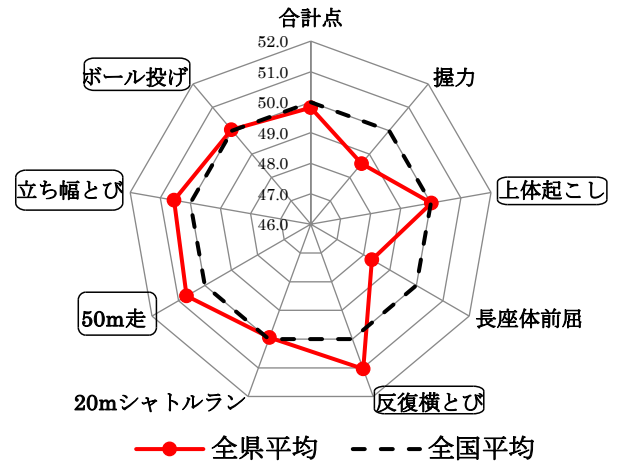
※項目を囲む は、全国平均以上のもの

【小学校男子】



※全国平均を50とするTスコアによる比較

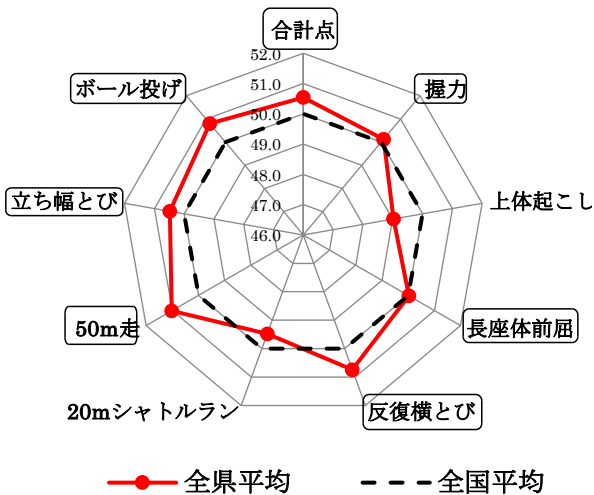
【小学校女子】



体力・運動能力について（小学校）

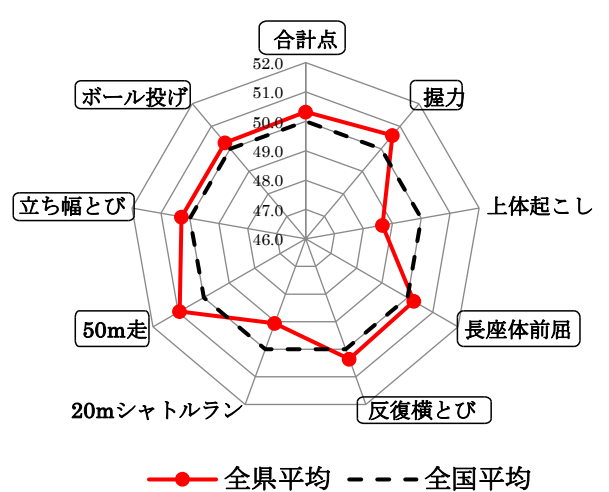
- 体力合計点は、男子はR1調査で初めて全国平均を下回ったが、R3、R4と2年連続で全国平均より高くなっている。女子は5年連続で全国平均より低くなっている。
- 種目別で見ると、男女ともに握力、長座体前屈の結果が全国平均より低くなっているが、男子はその他6種目、女子はその他5種目が全国平均より高くなっている。
- 男子は、昨年度、全国平均以下であったボール投げが、女子は、昨年度、全国平均以下であった上体起こしが、今年度は全国平均より高くなっている。

【中学校男子】



※全国平均を50とするTスコアによる比較

【中学校女子】

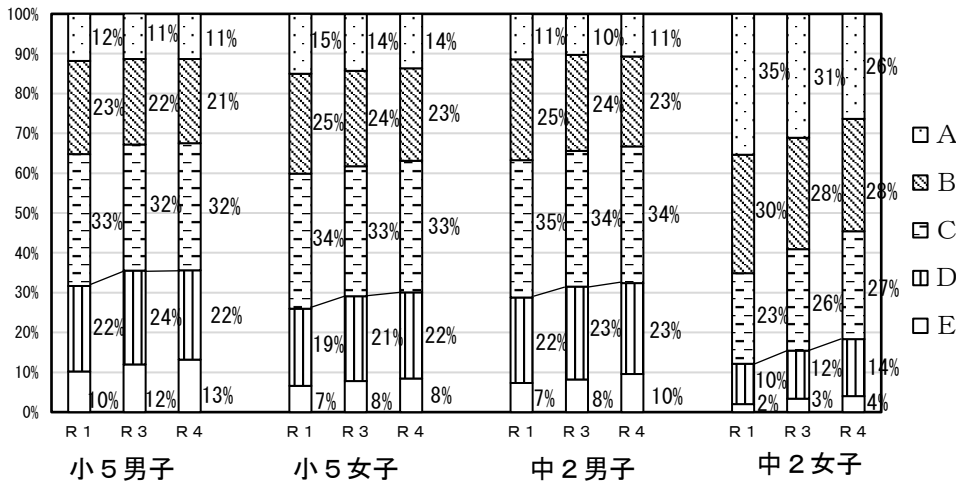


体力・運動能力について（中学校）

- 体力合計点は、男女ともに全国平均より高くなっている。
- 種目別で見ると、男女ともに上体起こし、20mシャトルランの結果が全国平均より低くなっているが、その他6種目が昨年度と同様に全国平均より高くなっている。

(3) 総合評価の割合の年次推移 (全県)

※体力合計点によりA～Eの5段階で評価



段階	小5	中2
A	(65以上)	(57以上)
B	(58～64)	(47～56)
C	(50～57)	(37～46)
D	(42～49)	(27～36)
E	(41以下)	(26以下)

【総合評価の割合について】

小・中学校ともに体力総合評価ABC群（C以上）が微減している。

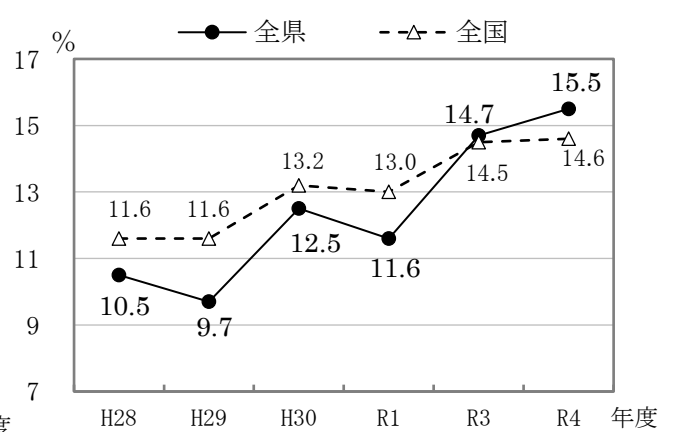
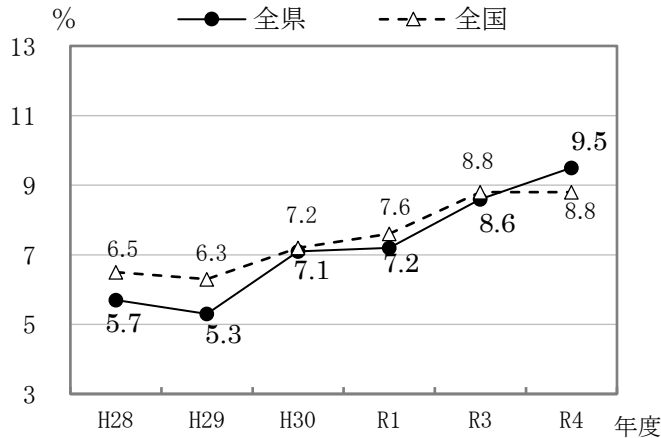
運動習慣の状況 (岡山県公立学校の状況)

3 児童生徒質問紙調査の結果から見える特徴

(1) 運動時間について (1週間の総運動時間数が60分未満の児童生徒の割合の推移)

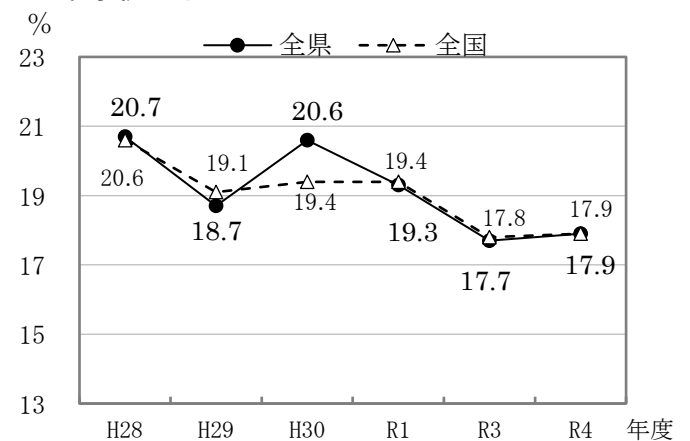
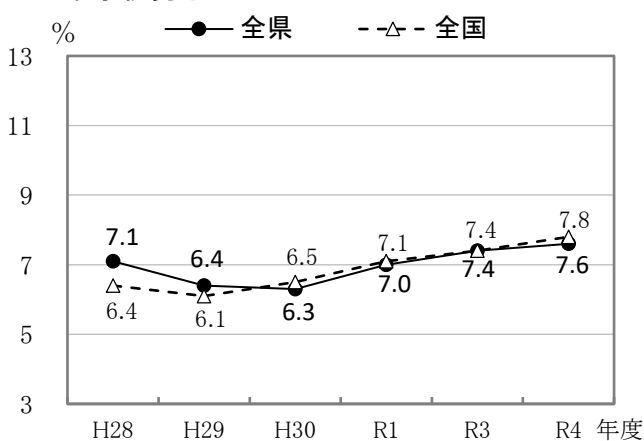
○小学校男子

○小学校女子



○中学校男子

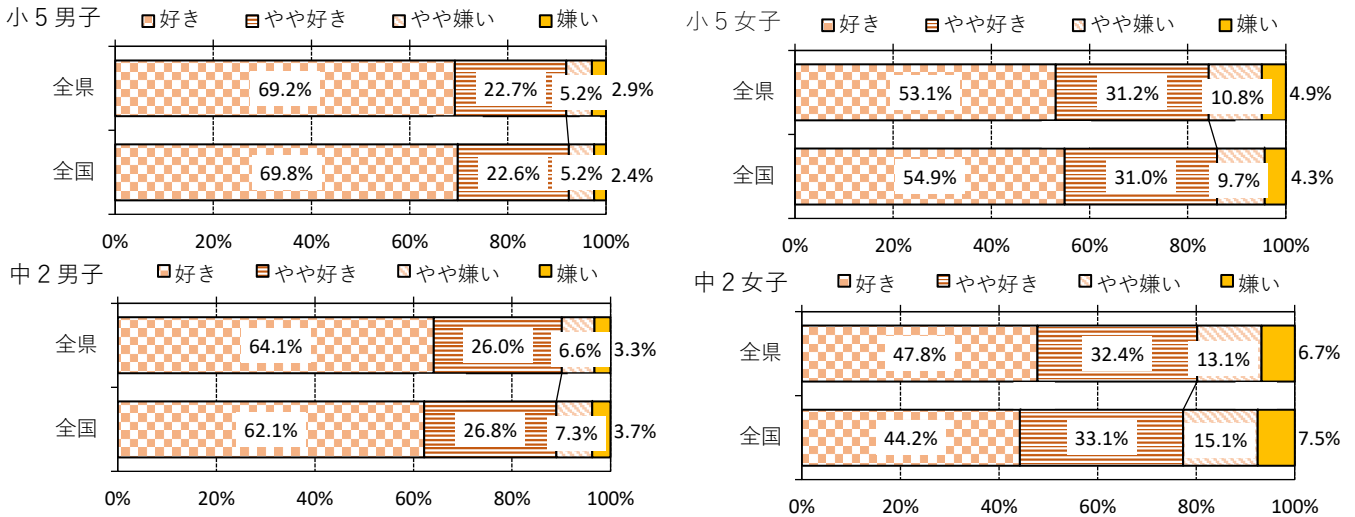
○中学校女子



【児童生徒の運動習慣について】

○ 「1週間の総運動時間数が60分未満」 (つまり、1週間に60分も運動しない) と回答した割合は、小学校男女ともに全国平均より高く (多く)、中学校男女では、全国平均と同等となっている。

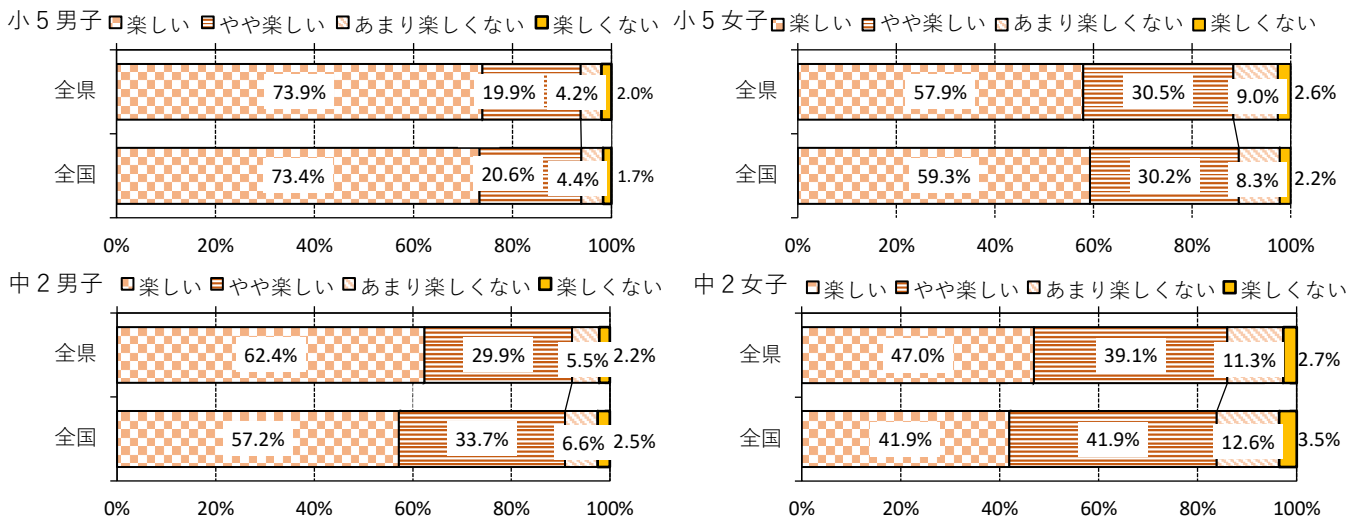
(2) 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか。」



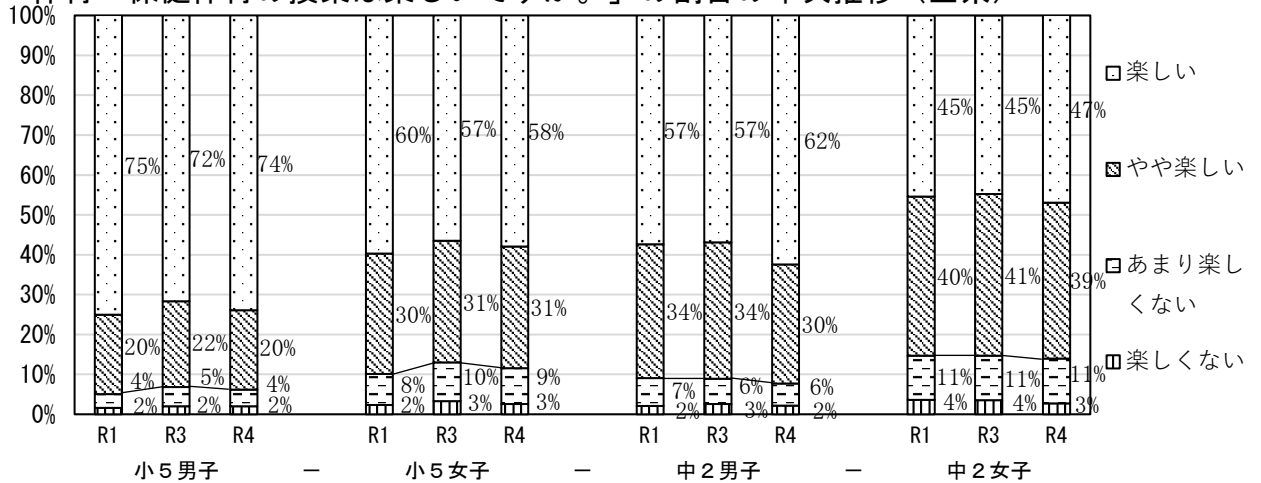
【児童生徒の意識について】

○ 「運動やスポーツをすることが好き」と感じている児童生徒の割合は、小学校では全国平均より低く、中学校では全国平均より高くなっている。

(3) 「体育・保健体育の授業は楽しいですか。」



「体育・保健体育の授業は楽しいですか。」の割合の年次推移（全県）



【児童生徒の意識について】

○ 「体育・保健体育の授業が楽しい」と感じている児童生徒の割合は、昨年度の調査より小・中学校ともに高くなっており、小学校女子を除き全国平均より高くなっている。

結果からの考察と課題及び今後の取組について

4 結果からの考察と課題

(1) 結果からの考察

○小学校男子は、令和元年度、本調査開始以来初めて体力合計点が全国平均より低くなったが、昨年度に続き、今年度も全国平均より高くなった。

小学校女子は、全国平均より低い状態が続いているが、全国平均との差はその差を縮めた昨年度とほぼ同じである。

→児童の「運動への肯定感」を向上させるため、「達成感」「成功体験」を与える授業改善や各事業に継続的に取り組んできた成果と考えている。

○中学校は、男女とも全国平均より高い水準を維持している。

→全国の傾向と同様、本県でもコロナの影響を受け、十分な結果を残せてはいないが、生徒が主体的に取り組む保健体育の授業や運動部活動の取組の成果と考えている。

(2) 課題

ア 体を動かす楽しさや喜びを味わい、運動を継続して実践することができる児童生徒が増えるよう、体育・保健体育授業の一層の充実

イ 低下傾向にある本県児童生徒が楽しみながら運動を継続的行ったり、個人で目標をもって意欲的に運動を行うことができる体力向上の取組

ウ 運動習慣の定着、コロナ禍における運動時間の確保

エ 全国平均より低い傾向が続いている種目への対応

小学校 ー 握力、長座体前屈

中学校 ー 上体起こし、20mシャトルラン

5 今後の取組 (政令指定都市である岡山市を除く)

各学校において、本調査結果から明らかになった課題の解決に向けた実践が進むよう、市町村教育委員会と連携して、次のような体力向上に向けた取組を進めていく。

(1) 体力向上に向けた校内体制整備

○体力向上担当者を明確に校務分掌に位置づける。

○各校で分析・作成した「結果の考察と取組シート」から、実態に応じた体力向上に関する目標を設定

○目標に応じた取組を「一校1チャレンジ」として、体力向上担当者を中心に学校全体で行う。

○体力向上担当者は研修会で好事例や近隣校と取組事例を共有、自校の実践に反映

(2) 教員の指導力向上及び授業改善への対応

○各種研修会等【課題ア】

・各校の体力向上担当者を対象として、体力向上研修会の実施【新】

①体力向上に関する知識、意識の向上

②運動領域と保健領域や他教科の関連を意識した授業の実施

③他校の好事例を共有し、各校で反映

④各校の指導・取組の改善、同じ地域の学校で協議を行い、実効性向上

・小・中学校体育連盟との連携、情報共有

○授業改善への支援【課題ア】

- ・体育授業力アップモデル校事業（R2～）
- ・体育授業スペシャルサポーター派遣事業（R3～）
- ・「岡山型学習指導のスタンダード」の普及（授業目標の提示、振り返りの実施等）
- ・効果的な実践の紹介（運動やスポーツに苦手意識のある児童生徒への配慮や取組等）
- ・中央講習会等への教員派遣

○指導力向上への支援【課題ア】

- ・体育授業エキスパート派遣事業（R2～）

(3) 児童生徒への体力向上の意欲づけ及び運動習慣の定着等への対応

■体力向上の意欲づけ

○優秀賞バッジ（H11～）【課題イ】

- ・新体力テスト総合評価「A」を獲得した児童生徒に配付



○マイベストバッジ（R1～）【課題イ、エ】

- ・新体力テストの種目から、あらかじめ自分が選んだ2種目の合計点が4点以上アップする又は体力合計点が75点以上の児童生徒に配付



○運動マスターバッジ（R2～）【課題イ、ウ】

- ・ビンゴカードの要素を取り入れた運動習慣カードを使用し、年間3回以上運動習慣カードを活用した運動習慣づくりを行い、かつ年間2回以上16ビンゴ以上達成した児童に配付



■運動習慣の定着

○みんなでチャレンジランキング（幼・小：H18～、中・高：H26～）【課題イ】

- ・インターネット上で県内の他の学校とさまざまな運動（運動遊び）の記録を競う取組（みんなでチャレンジランキング）の積極的な参加を呼びかけ、運動遊びを通して、体を動かす楽しさを体験させる。
- ・平成30年度追加した握力と柔軟性を高める運動遊びの普及

○新体力テスト実施の手引、新体力クエスト（R2～）【課題イ、ウ、エ】

- ・新体力テストの正しい実施方法や体力アップにつながる運動等の動画（新体力クエスト）をYouTubeに掲載



■体育授業等での体力向上

○体力アッププログラム（H25～）【課題イ、エ】

- ・追加プログラムを作成し（H30～）、各学校での活用を促進